

2011年度 学校評価について (錦生小学校)

教職員による自己評価結果

学校教育目標

自ら考え、行動する、心豊かなたくましい錦生の子を育てる

学校経営ビジョン

- ・生き生きと学び合いのある楽しい学校
- ・子ども・保護者・地域・教職員相互の信頼関係のある学校
- ・地域に開かれた学校

(1) めざす学校像

(2) めざす児童像

- 1 すすんで学び、よく考える子
- 2 互いのよさを認め合い、思いやりのある子
- 3 健康でたくましい子

☆次の項目について、3段階で評価 (◎十分達成できた ○達成できた △もう少し)

具体的な方策	評価の観点	評価	評価内容(○成果・△課題)(学校関係者評価委員会でいただいたご意見)
<p>自分の考えをもち、意欲的に伝え学び合える授業に取り組む。</p>			<p>○相手に伝わるように話すために、全ての教科において書いて発表することを繰り返して行ってきた。少しずつ自分の言葉で伝えることができてきている。 ○取り出し授業をしてもらったことで、本人のペースで学習することができて効果が上がった。 ○自主学習のできる子が増えつつある。 ○「チャイム」を意識して次の行動に早く動ける児童が増えた。 △チャレンジ問題を取り入れ、T・Tを活用しながら多様な問題に対応できる力をつけていきたい。 △やまなみ号など、本はよく借りているが、全員が本を借りてじっくり読書する時間を確保していく必要がある。 △個々の児童によっては理解に時間のかかる子もいる。一斉授業の中ではカバーできない子もいるので、その子にあった内容でワンステップずつやっていくことはよい方法である。 ・今後も学習サポーターやT・Tの活用など、人的なものが必要である。 ・子どもが宿題をしている時間に親が見ていないのでは？ ・親が子どもの宿題を点検することが必要。やったかどうかを確認するだけでもよい。 ・宿題のまちがいは、その場で直させる事が大事。</p>
主体的な学びのある授業展開	自分の考えをもち、意欲的に発言していける場を大事にした授業を行うことができたか。	◎	
	チャイムが鳴ったら授業の準備ができ、忘れ物がないか。	○	
	よく聞き、理解できているか。	○	
個に応じた指導の工夫 基礎学力の定着 家庭学習の習慣化	自分の考えをもち、相手に伝わるように話すことができているか。	○	
	個に応じた基礎学力をつけることができたか。	◎	
読書活動の充実	家庭学習・自主学習が習慣化しているか。	○	
	読書に興味をもって、よく本を読んでいるか。	○	
<p>自分のよさに気づき、互いに認め合い、ともに活動できる場を生かした活動に取り組む。</p>			<p>○全校集会の発表、しらはぎタイムの発言、その後の感想の交流によって、つながりが強まっている。 ○しらはぎタイムで進んで自分の思いを発言できる子が増えてきた。 ○しらはぎタイムで、自分の経験と重ね合わせて言える子もいるなど、表現力がついてきたように思う。 ○集会でどの学年も自信を持って堂々と発表できていた。 ○互いに認め合い、思いを伝え合う場づくりが心がけられている。 ○児童集会やそうじ等、学年同士の関わる機会が多い。外でも学年関係なくドッジボールをしている姿も見られてよい。 ・たてわりそうじ、分団での登下校、集会活動、たてわり班給食、たてわり班遊びなど、たてわりでの活動をたくさん取り入れている。トラブルが起こることもあるが、話し合って解決している。 ・昔は放課後、たてわりで遊んでいたが、最近の子どもたちは、習い事などで自由に遊べる放課後がない。学校でたてわりの経験をすることはとても大切。今後またたてわりでの活動を進めてほしい。</p>
縦割り活動を生かした自主的な活動。コミュニケーション能力を高める活動の促進。	縦割り班活動などを通して、学年を越えた児童のつながりができ、高めあう場になっているか。	◎	
互いに認め合い、思いを伝え合う集団づくり	集会や学活など認め合う場を多くし、互いに認め合う集団づくりができたか。	◎	
人・もの・できごととの出会い。人の生き方に触れる体験活動の促進。	出会いや体験活動を通して、豊かな心を育てることができたか。	◎	

進んであいさつができ、めあてをもち、好んで運動に取り組める子を育てる。			<input type="radio"/> ダブルダッチ(なわとび)に意欲的に取り組むことができた。 <input type="radio"/> 45分の授業の中にいろいろな運動を入れるようにしている。 <input type="radio"/> 〈体育の授業で)子どもたちはとても楽しそうに活動していた。 <input type="radio"/> 大きな声であいさつしてくれる子が多いので、元気に一日を迎えられる。 <input type="radio"/> 目を合わせてあいさつができるようになりつつある。 <input type="radio"/> 生活委員会の子どもたちも、意欲的にあいさつ運動に取り組んでいた。 <input type="radio"/> ・最近、特に高学年の子どもたちが進んであいさつしてくれるようになった。声をかけあうこと(あいさつをすること)は、防犯上でもとても効果があるので、地域の人にもあいさつをすることを勧めたい。
体ほぐし・コーディネーション運動の取り組み	「体ほぐし・体づくり運動」に意欲的に取り組んでいるか。	<input checked="" type="radio"/>	
あいさつ 安全な学校生活	進んであいさつができていますか。 安全に気をつけた学校生活が送れているか。	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	
開かれた学校づくりに努める。			<input type="radio"/> 夏休みの調べ学習(世界の食べ物)で調べたことや疑問に思ったことを、李先生とともに学ぶことができた。 <input type="radio"/> 地域学習やゲストティーチャー活用が、これまで以上に広げられている。 <input type="radio"/> 人権総合学習で出会いから様々なことを学ぶことができた。(命の大切さ、わらを使ってしめ縄作り、伊賀米についてなど) <input type="radio"/> 赤目の森やほっとサロン錦へ校外学習へ行ったり、収穫祭でおうちの方を招いたり、地域の人のつながりをたくさんもてた。 <input type="radio"/> 校区探検で9カ所まわり、それぞれの場所で地域の方とふれあったので、人の温かさや優しさを感じ取ることができた。 <input type="radio"/> ほっとサロン錦とはいいつながりができた。次の交流も楽しみにしている。 <input type="radio"/> 学年通信等で学校の様子を定期的に伝えることができた。家庭訪問も必要に応じて積極的に実施した。 <input type="radio"/> △計画を立てて、地域素材や人材の活用をこれからも取り入れていく。 <input type="radio"/> ・子どもたちとほっとサロン錦のみなさんとの交流はとてもよい。ぜひ今後も続けてほしい。 <input type="radio"/> ・子どもたち一人ひとりからサロンのみなさん一人ひとりにメッセージが届き、子どもたちの優しい心に大変喜んでた。 <input type="radio"/> ・1年生と昔遊びをしたとき、宮崎さんのおじいさんから「竹こっぼり」をいただいた。学校で子どもたちがそれを使って遊んだり、宮崎さんのおうちにお礼に行ったりと交流が続いた。
月1回の授業参観、学校・学級だよりの発行。HPの更新による発信。保護者、地域からの意見の収集方法の工夫	教育活動や子どもの様子を、学校・学級だよりで定期的に伝えることができたか。	<input checked="" type="radio"/>	
地域の人材の活用と地域教材での学習の充実	必要に応じて家庭訪問をすることができたか。	<input checked="" type="radio"/>	
	地域の素材を生かした教材化を図り、児童に地域への知識関心をもたせることができたか。	<input checked="" type="radio"/>	
	地域の人々に参加してもらった授業づくりをし、教育的効果を上げることができたか。	<input type="radio"/>	

【学校関係者評価委員会より】 その他

子育てで悩んでいる保護者が多い。思いを語り合える場を学校と地域で考えていきたい。

保護者として「子どもの意見が出るまで待つ」「子どもとの会話を大切にすること」を大事にしてほしい。

学習や生活の基本となることは学校と家庭との連携した指導が必要であるが、お箸の持ち方や鉛筆の持ち方など、しつけの部分は家庭できちんと指導しなければならない。

来年度に向けて

☆本年度の反省をふまえ、来年度の方向性を検討しました。

本年度、錦生地区文化祭に合わせて「校内作品展」を行い、子どもたちのカー杯の作品を多くの方に見ていただくことができた。来年度は体育館の耐震工事のため、昨年と同じ形式では実施できないが、校舎内を使って作品展を実施したい。

授業参観(自由参観)の日を次のような形で実施します。

- ・できるだけ曜日が重ならないようにする。
- ・午後の参観日も設定する。

防災訓練の一つとして「引き渡し訓練」を実施する。

地域の「ひと」「もの」「こと」から学ぶ活動を積極的に取り入れる。

